

2010年度

科目名	文化財科学実習Ⅱ		
担当教員	三辻 利一		
配当	文財3(2142)	コード	53640
開期	後期	講時	金曜日3限
		単位数	1
授業テーマ	土器の蛍光X線分析について実習する。		
目的と概要	蛍光X線分析法の原理を理解するとともに、どのようにして、土器を分析するか、また、データをどのようにして解析するかを理解する。		
成績評価法	毎回レポートを提出する。レポート内容(70%)と平常点(30%)で評価。		
テキスト	使用しません。		
参考書	使用しません。参考書は紹介します。		
履修に当たっての注意・助言	当日に実習内容を十分理解すること。そのため、実習しながら質問をすること。		
講義計画			
第1回	蛍光X線分析の原理の理解(1)		
第2回	蛍光X線分析の原理の理解(2)		
第3回	蛍光X線分析の実際(1)		
第4回	蛍光X線分析の実際(2)		
第5回	K-Ca、Rb-Sr分布図の作成(1)		
第6回	K-Ca、Rb-Sr分布図の作成(2)		
第7回	装置自身による「ゆらぎ」と窯跡出土須恵器の分析データのばらつき(1)		
第8回	装置自身による「ゆらぎ」と窯跡出土須恵器の分析データのばらつき(2)		
第9回	装置自身による「ゆらぎ」と窯跡出土須恵器の分析データのばらつき(3)		
第10回	マハラノビスの汎距離の計算(1)		
第11回	マハラノビスの汎距離の計算(2)		
第12回	判別図の作成(1)		
第13回	判別図の作成(2)		
第14回	検定		
第15回	まとめ		